

第2次（2021～2025）

城北地区まちづくり計画

令和3年（2021）4月



（掛川城天守台から望む城北地区）

しろきた
みんなで築こう住み良いまち城北

城北地区まちづくり協議会



目 次

1. 地区まちづくり計画とは	1
2. 地区まちづくり計画策定の必要性	1
3. 第2次城北地区まちづくり計画策定の趣旨	2-3
4. 地区の現状、課題	4
5. アンケート調査にみる地区民の評価、意見・要望	5-6
(1) 活動に対する地区民の評価	
(2) 地区民の意見、要望(自由記述)	
6. 第2次城北地区まちづくり計画の内容	7-12
(1) 基本方針	
(2) 城北地区の将来像、スローガン	
(3) 分野別(部会毎)のテーマ	
(4) 分野別(部会毎)の目標、課題	
(5) 分野別の実施計画一覧表	
7. 計画の実現に向けて	13
付記 城北地区まちづくり計画改定委員会委員一覧表	13

1 地区まちづくり計画とは

地区住民の誰もが願う住みやすい地域をつくっていくため、住民が自分たちの地域の将来像や方向性を記したものが「地区まちづくり計画」です。

これにより、次のことにつながります。

- (1) 地域活動に関心を持つ人が増え、住民の当事者意識が高まるとともに、人材の育成や地域の絆づくりにもつながる。
- (2) 既存事業の評価や改善につながる。
- (3) 地区内の魅力や課題が整理され、より良い地域を目指した活動や公共を担う事業にも計画的に取り組める。
- (4) 地域住民や活動団体等が、同じ目標に向かって地域づくりに取り組むことができる。
- (5) 地域の将来ビジョンが決められるため、役員交代があっても目標が共有され、地域運営の継続が確保される。

2 地区まちづくり計画策定の必要性

少子高齢化に伴う社会保障費の増加や、市民ニーズの多種多様化による地域課題の増加など社会環境が大きく変化している中、市民主体のまちづくりを進めることで、みんなで公共を支える仕組みの構築が必要となっております。

また市民主体のまちづくりにおいては、地域のことを一番よく理解している地域住民が、自らの地域のことを考え、決定し、市民と市が連携して**まちづくりを進めていくための仕組みが「地区まちづくり計画」であり、地域づくりの方向性を示す「地区の柱」ともなります。**

*地区まちづくり計画の策定については、掛川市自治基本条例第24条（地域自治活動）に、次のように規定されています。

第24条 2 地区は、まちづくりに関する計画を策定し、その区域内における公共的課題について調整を行い、解決を図るとともに、市と連携を図りながらまちづくりを総合的に推進するものとする。

3 第2次城北地区まちづくり計画策定の趣旨

経緯

城北地区まちづくり協議会は、平成28年2月20日に設立。

平成28年度から令和2年度までの5年間を計画期間として、「第1次城北地区まちづくり計画」を策定、地区のコミュニケーションを深める事業などを推進してきました。

令和2年度は、計画期間の最終年度となります。この間、地区民への周知に時間を要しましたが、各種事業を実施するごとに地区民の理解が深まり徐々に浸透してきました。

進め方

第2次計画策定には、当協議会や団体の役員からなる「城北地区まちづくり計画改定委員会」の設置や全世帯対象のアンケート調査、各部会や各種団体との意見交換会により事業の評価、検証を行うとともに、新たな視点も加えた**令和3～7年度までの5年間の第2次城北地区まちづくり計画**を策定しました。

城北地区まちづくり協議会マスコットキャラクター しろっぺ。

《プロフィール》

- 城北地区に住んでいたカモシカが城北の美味しいものを食べていたら突然変異。
- のんびりした性格。
- 食いしん坊。
- 城北が大好きで城北のどこかの山に住んでいる。
- 出会うと城北のおすすめスポットに連れてってくれる。

《名前の由来》城北+アンティロペ(英:カモシカ)=しろっぺ



計画策定の手順

① 第2次城北地区まちづくり計画改定委員会設置 (令和2年5月10日)

② 第1回城北地区まちづくり計画改定委員会 (令和2年7月19日)

- 改定の趣旨、策定スケジュール、アンケート調査の実施等

③ 全世帯まちづくりアンケート調査 (8月~9月)

- 707世帯 / 1,124世帯、回答率=62.9%

④ 各部会・各種団体との意見交換会 (9月)

- 8回開催

⑤ 城北地区まちづくり計画改定委員会幹事会

- 第1回 (令和2年11月6日)、第2回 (同年12月9日)

⑥ 第2回城北地区まちづくり計画改定委員会 (12月23日)

- 幹事会を踏まえ事務局で素案作成、委員会で審議、協議のうえ決定

⑦ 令和2年度臨時総会 (令和3年2月13日)

- 1) 「第2次城北地区まちづくり計画」承認 (書面表決)
- 2) 公表・全戸配布 (令和3年3月)
- 3) 新計画に基づき令和3年度事業計画、予算化

4 地区の現状、課題

< 現 状 >

城北地区は、掛川城の北に位置し、東には城北小学校、龍尾神社があり、北には、水垂川が倉真川に注ぎ、南には、旧国道一号線が東西に走るなど市中心部に、ほど近く住環境も良く住みやすい地域です。自治区は、北門区、城北町区、弥生町区、下西郷区、下西郷西区の5区からなり、1,711世帯、4,165人(令和2年10月31日現在)が居住しております。市中心部の北端、西郷地区の南端が一緒になったこともあり、同一地区内に消防団が3分団が存在したり、祭典のブロックも2分されるなど情報の共有化に戸惑いを感じることもあります。

< 課 題 >

●水害問題として、宅地造成等による水量の増、地区の西側一帯の平坦地による水捌けの悪さ、下流の倉真川への流入が「バックウォーター」現象を生じるなど浸水が心配される。大雨による浸水防止のため雨水貯留調整池等の設置を検討。

●交通問題としては、旧国道1号線と国道バイパスの間にある当地域をショートカットして通過する車両が多くなり、通学や日々の生活道路として危険を感じている。

●高齢化について、高齢化率は城北町区が高いが地区全体ではほぼ市の平均値である。今後も団塊世代の高齢化への対応を含め各種事業にきめ細かい配慮が必要である。

●子ども達の安全については、幼児がまちの公園で安全に遊べるように、小中学生が安心して通学できるように、「地域の子どもは地域で守る」ことが必要である。

城北地区の人口、世帯数の推移

(令和2年8月市統計より)

区 名	平成 26 年 3 月		平成 30 年 3 月		男女比		年齢構成		
	世帯数 (戸)	人 口 (人)	世帯数 (戸)	人 口 (人)	男 性 (人)	女 性 (人)	~ 小 中 (人)	中間層 (人)	高 齢 者 (人)
			26 年比	26 年比	割合	割合	~14 歳	15~64 歳	65 歳~
北門区	246	638	275 111.8 %	658 103.1 %	346 52.6 %	312 47.4 %	100 15.2 %	401 60.9 %	157 23.9 %
城北町区	335	856	337 100.6 %	863 100.8 %	427 49.5 %	436 50.5 %	118 13.7 %	392 45.4 %	353 40.9 %
弥生町区	194	474	214 110.3 %	513 108.2 %	257 50.1 %	256 49.9 %	72 14.0 %	296 57.7 %	145 28.3 %
下西郷区	407	951	451 110.8 %	1,092 114.8 %	550 50.4 %	542 49.6 %	179 16.4 %	695 63.7 %	218 20.0 %
下西郷西区	319	790	339 106.3 %	871 110.3 %	425 48.8 %	446 51.2 %	145 16.7 %	560 64.3 %	166 19.1 %
計	1,501	3,709	1,616 107.7 %	3,997 107.8 %	2,005 50.2 %	1,992 49.8 %	614 15.4 %	2,344 58.6 %	1,039 26.0 %

5 アンケート調査にみる地区民の評価、意見・要望

- ・実施時期 令和2年8月～9月
- ・調査対象 地区内全世帯 1,124世帯
- ・回答数 707世帯
- ・回答率 62.9%

(1) 活動に対する地区民の評価

項 目	評 価 区 分		
1. 広報「しろきた」の内容	満 足	普 通	不 満
	32.8%	63.0%	4.2%
2. 女性部への加入希望	希 望	特 に	希望しない
	1.7%	29.5%	68.8%
3. 高齢者にとって楽しみがある地域か	あ る	特 に	あまりない
	27.2%	59.1%	13.7%
4. 子育てがしやすい地域か	しやすい	特 に	しにくい
	37.9%	59.8%	2.3%
5. 生活に不便を感じるか	感じない	特 に	感じる
	69.6%	19.9%	10.5%
6. 地区の文化活動について	満 足	普 通	不 満
	29.3%	67.4%	3.3%
7. ふれあいまつりの内容は	良 い	特 に	見直したい
	42.4%	50.9%	6.7%
8. 自主防災会の取り組みは	満 足	普 通	不 満
	29.5%	67.6%	2.9%
9. 地区の治安は良いか	良 い	普 通	良くない
	34.6%	50.9%	14.5%
10. 特殊詐欺の被害の有無	あ る	あいそうに	な し
	1.1%	16.4%	82.5%
11. 公園は子どもが安心して遊べるか	遊べる	特 に	心 配
	42.0%	49.7%	8.3%

(2) 地区民の意見、要望（自由記述）

項 目	主 な 内 容
1. 創設したホームページに何を期待するか	活動内容や地域の情報発信 若い世代の参画、参加 防災対策への活用、コロナ情報 小・中学校との連携、子育て支援
2. 人材バンク活用で希望する講座は	パソコン教室（スマホ含む）、歴史教室 健康増進（体操、ヨガ、エアロビ、ウォーキング） 庭木の剪定、音楽、ダンス、ビーズアクセサリー
3. 創設した女性部に希望する事業は	不要品の物々交換、美容関係 カルチャースクール、ワークショップ
4. 次世代を担う人材育成の効果的な事業は	年長者による昔の良き話 知識や経験がある人を発掘 ディスカッション（若者の意見を聴く） 親子でボランティア
5. 高齢者が希望する事業は	スポーツ（グランドゴルフ、ヨガ、ラジオ体操） 地区対抗事業、囲碁、将棋 共通の話題づくりができる事業
6. 子育て支援で望むことは	公園（遊具）の整備、充実 安全対策（見守り、歩道整備） 保育園の充実（待機児童の解消など）
7. 生活にどんなことが不便に感じるか	郵便ポスト不足 道路（歩道含む）の不整備 水害（水路）の心配
8. 地区の文化活動で希望する事業は	語学教室（英語、中国語） 音楽教室、ミニコンサート、合唱 将棋大会（世代交流）、高齢者による体験談
9. ふれあいまつりで見直し、加えたい点は	来場者が参加できる企画 展示時間が短い、展示作品の増 区毎・区対抗の発表（合唱、舞踏、寸劇等）
10. 地区で行う希望するスポーツは	バドミントン、卓球、トリムバレー、 ソフトボール（区対抗）、ドッチボール、 ウォーキング（ハイキング）、グランドゴルフ
11. 子ども向けの事業は	トランポリン・トランポピクス、バスケットボール、 囲碁、将棋、書道、自然体験（ハイキング） 創作事業（ものづくり）、プログラミング（パソコン）
12. 交通安全、防犯で危険と感じることは	登下校時（広がって、遊びながら）、自転車通学 運転マナー悪さ（信号無視、逆走）、歩道が狭い、 不審者（不審な訪問販売）
13. 公園で子どもが遊ぶときに心配なことは	衛生面（トイレ不潔、吸い殻、ごみ、糞） 遊具の老朽、砂の入れ替え 防犯面（生垣で見通しが悪い）

6 第2次城北地区まちづくり計画の内容

(1) 基本方針

少子高齢化や市民ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化などが進んでいる状況の中、地域住民や活動団体が支え合い、絆を深めることを再認識し、「行政」と協働して、住民みんなで住み良いまち城北（しろきた）を築いていきます。

(2) 城北地区の将来像・スローガン

しろきた

「みんなで築こう住み良いまち城北」

(3) 分野別（部会毎）のテーマ

企画運営分野

「みんなで情報を共有し、参画・参加するまちづくり」

地域振興分野

「地域の宝を活かした、活気あふれるまちづくり」

福祉分野

「支え合いで交流と思いやりのあるまちづくり」

健康スポーツ分野

「健康で元気に、笑顔のまちづくり」

教育文化分野

「学び高め合い文化力向上を目指すまちづくり」

安全安心分野

「人の絆で安心して、暮らせるまちづくり」

環境美化分野

「自然を大切に、環境に優しいまちづくり」

(4) 分野別 (部会毎) の目標、課題

企画運営分野：みんなで情報を共有し、参画・参加するまちづくり	
<p>目標</p> <p>広報、ホームページ等による地域情報の共有化と地域住民のつながりづくり。 「いつでも、だれでも、どこでも」情報入手できる環境を整える。</p>	<p>課題</p> <p>各種情報を誰にも分かり易く発信するとともに、その情報が全住民に届くこと。 また次代を担う若者や半数を占める女性が参加しやすい雰囲気づくりに心掛ける。</p>
地域振興分野：地域の宝を活かした、活気あふれるまちづくり	
<p>目標</p> <p>地域に潜在する人材の発掘・育成・活躍、女性部の拡充、時宜を得た講演会の開催などにより地域全体の活気を生み出す。</p>	<p>課題</p> <p>地域の「達人」、「名人」発掘するため情報把握。 女性参画事業により女性陣のパワーに期待。 講演会では、住民ニーズ反映したテーマ、講師。</p>
福祉分野：支え合いと思いやりのあるまちづくり	
<p>目標</p> <p>住民相互の支え合いによる交流といきがづくり。</p>	<p>課題</p> <p>家に閉じこもりがちで一人暮らし高齢者などを地域の和でみんなで支え合い。</p>
健康スポーツ分野：健康で元気に、笑顔のまちづくり	
<p>目標</p> <p>健康増進とスポーツを通じ、住民がふれあい、親睦を深め、健康で元気なまちづくりを目指す。</p>	<p>課題</p> <p>地区民からの要望の多い各種の健康増進事業やスポーツを世代を勘案して計画的（5年間）に実施するよう調整。</p>
教育文化分野：学び高め合い文化力向上を目指すまちづくり	
<p>目標</p> <p>子ども達は「ものづくり」などによって創造性を高め、大人は「音楽」や「歴史教室」などで学び文化活動を促進し文化のまち城北を目指す。</p>	<p>課題</p> <p>創作活動は、子供会との連携を密に参加しやすい環境を整える。 一般の文化活動における教室や講座は、カルチャーセンター的に人材バンクの活用も含めメニュー化（検討）し、幅広く5年間対応する。</p>
安全安心分野：人の絆で安心して暮らせるまちづくり	
<p>目標</p> <p>地域の支え合いで小中学生通学時の安全確保を！付き合いの原点「向こう三軒両隣」で防犯を！命を守ることを最優先に、地区の連携で防災を！</p>	<p>課題</p> <p>安全安心の確保は、「地域の目と支え合い」が必要。そのため日常からの近隣のコミュニケーションを深めておくことが大切。</p>

環境美化分野：自然を大切に、環境に優しいまちづくり

目 標

個々には美意識の向上を、地域においては、良好な住環境の改善に努め、明るく住み良いまちづくり。

課 題

普段から住民一人ひとりが意識を持つことが大切であり、意識向上のため住民への啓発が必要。

(5) 分野別の実施計画一覧表

企画運営分野：みんなで情報を共有し、参画・参加するまちづくり

事業名	事業概要	第1次計画年度						第2次計画年度				
		平 2 8	平 2 9	平 3 0	令 元	令 2		令 3	令 4	令 5	令 6	令 7
広報しろきた発行	地区の総合広報誌	○	○	○	○	○	継続	○	○	○	○	○
ホームページ運営管理、活用	令和2年度開設、運営管理・活用 ・地域の情報発信・収集					○	継続	○	○	○	○	○
マスコットキャラクター活用	令和2年度作成「しろっぺ」活用 ・回覧・チラシへの掲示、商品化					○	継続	○	○	○	○	○
ボランティア部設置、運営	冀北学園（幼・小・中）との連携						新規	○	○	○	○	○
施設運営管理	ふれあいセンター維持管理・貸し出し	○	○	○	○	○	継続	○	○	○	○	○
地区まちづくり計画管理、改定	第2次計画の進行管理、第3次計画改定					○	継続	○	○	○	○	○

地域振興分野：地域の宝を活かした、活気あふれるまちづくり

事業名	事業概要	第1次計画年度						第2次計画年度				
		平 2 8	平 2 9	平 3 0	令 元	令 2		令 3	令 4	令 5	令 6	令 7
人材バンク調査・登録・活用	地区内の全世帯照会、登録、活用		○	○	○	○	継続	○	○	○	○	○
	・調査、登録		○			○						
	・茶道教室			○								
	・パソコン教室				○							
	・アクセサリ教室			○	○							
	・音楽教室					○						
	・要望を踏まえ毎年2教室を開催						継続	○	○	○	○	○
講演会	・有識者、著名人等による講演会		○	○	○	○	継続	○	○	○	○	○
	・宮坂武司 静岡新聞掛川支局長		○									
	・赤堀宏幸 サンケイスポーツ編集委員			○								
	・西原茂樹 前牧之原市長				○							
	・医療従事者（看護師）					△						